

6月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

人生の中で、自分の意思で選択する機会がどれくらいあるでしょうか。選択といっても小さなこともあれば、大きなこともあります。「どっちのおやつが食べたいか？」のような日常的に起こりうる選択もあれば、「これから歩む自分の進路をどうするのか？」と、人生で1度きりの選択を求められる場面もあります。

幼い子どもたちにとっての選択は、先を考えず目先のところで判断することが多いが故に、選んだことが、うまく進まなかったり、後悔するような結果になったり、不憫に感じることも多くあるのかもしれませんが。私たちは、そのようなことが起こらないように、先回りして「これにしましょう！」「これにした方が良い！」と、子どもたちの選択の機会を奪ってしまっていないでしょうか？

幼いころからまわりが決めたことに従順に従うように育つと、「人のことをよく聞く、素直なお子さんだね。」と周りから認められるかもしれませんが。決められたことに従っていくことで認められ、そのことで自分自身の存在価値を見出すことにつながる代わりに、自分がどうしたいのか？の気持ちには知らず知らず蓋をしてしまうことになってしまいます。誰かリードする人がいたり、自分がどうすべきか決めてくれる人がいたり、指示を与えてくれる人がいる場合は、安心できるのですが、そのような人がおらず、すべて自分で決めないといけない立場になると、途端に不安になってしまいます。

ささいな場面でも自分はどうしたいのか、自分で考え、自分で選ぶ経験が日頃からなければ、いざ大事な場面で自分の意思を問われたときに自信を持った決断はできないでしょう。また、自分で選択、決断したことは、良くも悪くも自分に返ってくるものです。うまくいった時はそれこそ満足につながり、やりたいことに対して益々意欲的になり、上手くいかなかった場合も他人ではなく自分の決断によるものなので、その責任も自分で取ることになります。失敗から新たな学びを得て、次の選択の場面でよりよい決断ができるようになっていきます。しかし、自分ではなく人の指示で上手くいかなかった場合は、指示をした人のせいにして、失敗からの学びにはつながりません。

幼稚園では、本格的なコーナー遊びが始まりました。まさに、誰からも指示されることなく、自分自身がやりたいことをやりこむことができる遊びの時間です。指示されない代わりに自分の意思がなければ、遊ぶことも楽しむこともできません。すべて自分の意思が問われる時間です。このような時間を通じて、自分の思っていることに自信を持って表現できる人に成長して欲しいと願っています。幼稚園生活にも慣れ始めた6月。たくさんの「動き出す」姿を楽しみにしています。

【年主題】

「さあ、漕ぎだそう 奏でよう」

【年主題聖句】

「わたしは道であり、真理であり、命である。」

(ヨハネによる福音書 14章6節)

6月主題 「動き出す」

聖句 「見よ、それは極めて良かった。」 (創世記 1章31節)